

「モチモチの木～読書でたいわ！～」(12時間扱い)

授業者 澤田 仁志

1. 国語科の目標・国語の見方・考え方・本単元の目標・育成を目指す資質・能力を踏まえた単元の評価規準

国語科の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
	言葉による見方・考え方		
	児童が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること。		
	個別の知識や技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
	日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。	言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
本単元の目標	「モチモチの木」やその他の物語を読み、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて想像するとともに、感じたことや考えたことを読書会を通して語り合いながら共有することができるようにする。		
	○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解できる。 ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。	○登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。 ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。 ○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。	○読書を通じて自分のものの見方、考え方を深めようとするとともに、考えを伝え合うことで互いの感じ方の違いを認め合おうとしている。 ○進んで読書をし、読書を通して経験のないことを体験したり新しい考えに触れたりするなどしながら読書に親しもうとしている。
	評価1	評価2	評価3

2. 単元について

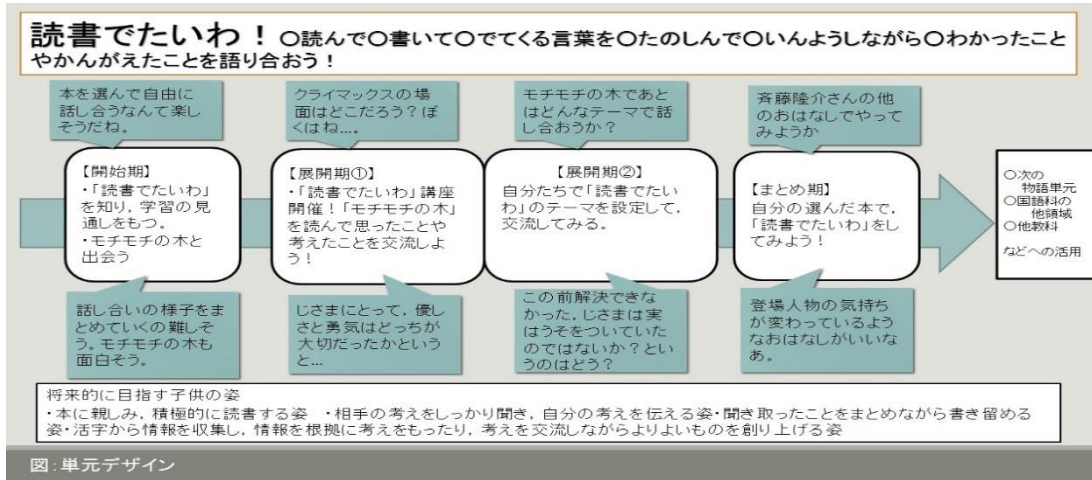
本題材は、場面の移り変わりの中で、中心人物（豆太）の性格や心情変化などを、語り手の言葉、情景描写などの叙述を基に想像して読むことができる題材である。指導事項イには「登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること」指導事項エには「登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像すること」とあり、これらの力を身に付けるために最適な題材であると言える。さらに、そこでまとめた考えを友達と交流することで、指導事項カにある「感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと」も大切に単元構想をしていきたいと考えた。

そこで、本題材を通して、子供がこのような力を身に付けながら学習を進めていくことができるように、「読書でたいわ（読んで書いてでてる言葉をたのしんでいんようしながらわかったことや思ったことを語り合おう！）」を単元を通して学習していく言語活動として位置付ける。本言語活動は、話し合いのテーマを参加者が決め、感想や考えたことを交流する。そのことによって、作者の考えや作品のテーマなどに迫ることを重視する。その際、自主的に読むことができるような「読みの視点」を与える。そうすることで、子供自らが詳細に文章を読むことにもつながる。

これらの言語活動を位置付けることによって、子供が意欲的に作品と向き合い、自分の考えを深めていくこともできると考える。子供が本を読みたい、友達と本について語り合いたいと思うことができる単元構想が、子供が本の世界を楽しむことにつながると考えている。

3. 研究との関わり

(1) 単元における、資質・能力の育成を支える「学びの文脈」



(2) 「学びの文脈」を生み、つなげる具体的な手立て 以下下線は、資質・能力とのつながり

手立て① 子供が意欲的に課題を解決できるような、課題の提示や発問の工夫をする

子どもが主体的に課題解決をしていくことができるように、子供が、学習する見通しを明確にして、単元を通して学習していく言語活動に向かうための「一単位時間の言語活動」「段階的な言語活動」を工夫する。

- ☆ 「ずっとめあて」（単元通して）「きっと今日めあて」（その時間で達成する）の設定
- ☆ 叙述を引用しながら、交流したことを見える化する言語活動（たいわシート）
- ☆ 各グループの中で解決できなかった課題、盛り上がったテーマを抽出し、そのテーマを使って全体交流会の実施
- ☆ 3次に向かうための「読書でたいわ教室」の開催
- ☆ 自ら課題を解決できるような「読みの視点」の提示

特に「読みの視点の提示」においては、教師からの疑問、意図的な補足などの発問の工夫により、自分達の読みの再検討、再構成を進めていくことができるようにする。基本的には、子供たち自身の言葉を多くしながら、グループでも全体でも交流を行うが、教師が、話合いに視点を与えたり、方向付けをすることにより、話合いが活性化していくと考える。

手立て② 考えを共有したり、感じ方の違いに気付いたりするための交流の場の工夫

作品を読んで考えたことを交流し、考えを共有したり、感じ方の違いに気付いたりするためには、対話的な学びは不可欠である。特に読むことの授業においては、発問や課題の解決の過程で多くの仲間の意見を聞きながら、読み取っていくことが大事になる。そこで、小グループで読書会を行いながら、話し合いを「たいわシート」（引用とそれに対する考えを書き込むシンプルな用紙）に見える化していく活動を取り入れる。さらに小グループでの学びや考えの広がりや深まりを、全体に広げていくために、「たいわシート」を交流し、全体で一つのテーマに向かって話し合う活動（全体での読書会）を取り入れる。小グループ同士の交流の際の、形態についても工夫する。（ワールドカフェ、フィッシュボウルなど）

手立て③ 全員が楽しく「読める・わかる」単元（授業）デザインの工夫（ユニバーサルデザイン）

国語科の読むことにおいて、全員が「読める！」「わかる！」を実感することが大切であるが、そのためには、学び方（読むことであれば「読み方」）を知識としてもっている必要がある。一見当たり前のように感じるが、「ごん的心情を読み取ってごらん？」というだけでは、読み取れない子供がいる。そこで、様々な文学表現の特徴から読み取らせるための工夫や、学習の中に教師からのしかけ（手立ての工夫）をすることで、全員が「読み方」を身に付け、読むことの目標に迫ることができる。本実践では、例えば次のようなことを試行しながら、ユニバーサルデザインを取り入れた学習を展開し、子供が「読み方」や資質・能力を身に付けている姿を捉えていきたい。

- ☆ 挿絵を並べ替えながら、物語の流れをつかむ学習
- ☆ 例えば、豆太が臆病だと思ふ文を見つけたら、教師が判読をしているときに手を叩く読み方
- ☆ 例えば、昼と夜の豆太を比較するために、二色のペンで線を引きながら読む読み方
- ☆ その場面における「間違った豆太像」の提示により、人物像に迫る読み方
- ☆ 教科書の言葉を引用した「センテンスカード」の活用（並べ替え、間違い探し、選択や消去法）
- ☆ 主題読みの際の「主題選択カード」の活用（自分の主題の捉えと近い意味を見つけたり、異なる読みを消去することができる）

(3) 「学びの文脈」を重視した単元計画

	学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
開始期 (1時間)	<p>○ 「モチモチの木」を読み感想を交流する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">臆病な豆太の話だったね。かわいかった。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">勇気を振り絞ってがんばってたよ。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">豆太のおかげでじさまは助かったね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">最後豆太が臆病に戻ったのが面白いね。</div> </div> <p>○ 「読書でたいわ」のやり方を知り、興味をもつとともに、どのように進めていけばよいのか、学習の見通しをもつ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">「読書でたいわ」？本を読んで話すの？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">聞き取ったことを書けるかな…。</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: 100%;">最後に自分たちで選んだ作品を読んで、自由の話し合うのは楽しそう。まずはやってみよう！</div>	<p>☆ <u>挿絵を並べ替えながら、物語の流れをつかむことができるようにする。【手立て③】</u></p> <p>◇ 進んで物語を読み、読んだ感想を積極的に交流し、今後の学びについて見通しをもとうとしている。 評価③</p> <p>☆ <u>学習の見通しをもつために「読書でたいわ」の単元を通して学ぶ言語活動との出会いを工夫し、「ずっとめあて」を確認する。【手立て①】</u></p> <p>◇ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句のまとまりについて理解している。 評価①</p> <p>☆ <u>読み方のイメージをもつために、既習の「のらねこ」の学習の時の読み方を想起することを働きかける。</u></p>
展開期 (8時間)	<p>○ 「読書でたいわ」を行うために、様々なテーマ、視点などを用いて「たいわシート」に話合いの様子を記録しながら、語り合うことを確認する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">教科書の言葉を書いて、それに考えを書くといいだね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">話合いのキャッチフレーズを考えるといいね。</div> </div> <p>○ 第1回「読書でたいわ」教室を行う。 「中心人物はだれ？その人はどんな人？」 ～登場人物の設定や描かれ方についてとらえ、性格や関係性について考える～ (1回につき2時間～グループ1時間・全体1時間)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">登場人物は、豆太とじさまと医者様だね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">語っているのは作者？語り手と言うのか。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">豆太の描写が多いから豆太が中心人物だね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">豆太は臆病だね。じさまがいないと…。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">豆太は臆病だけどやるときはやる子？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">でも、最後はまた臆病に戻っちゃって…。</div> </div> <p>○ 第2回「読書でたいわ」教室を行う。 「クライマックス場面はどこ？」 ～豆太の心情がかわったところはどこなのかを場面の移り変わり結びつけて考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">僕たちは、豆太が腹痛を起こしたときに変わったと…。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">起こしたときだとまだ勇気を出せてないと思うんだけど…。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">「医者様を呼ばなくっちゃ！」は、どうかな？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">それも思っただけだから、もっと行動しているところが…。</div> </div>	<p>☆ <u>どんな学習をするかのイメージを明確にし、見通しをよりはっきりさせるために、教師が「読書でたいわ」を模擬的にやってみたり、「たいわシート」を実際につくってみたりする。【手立て③】</u></p> <p>◇ 豆太やじさまの行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 評価②</p> <p>☆ <u>豆太が臆病だと思う文を見つけたら、教師が範読をしているときに手を叩く読み方や昼と夜の豆太を比較するために、二色のペンで線を引きながら読む読み方など、誰もが読める工夫をする。【手立て③】</u></p> <p>☆ <u>言葉を引用しながら、考えを交流するなど、よい話合いをしているグループを取り上げフィッシュボウルの形態で全体に紹介するなど交流の形態を工夫する。【手立て②】</u></p> <p>◇ 豆太の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結びつけて具体的に想像している。 評価②</p> <p>☆ <u>その場面における「間違っただ豆太像」の提示により、人物像に迫る「読ませ方」などを工夫する。【手立て③】</u></p> <p>☆ <u>叙述を基に話合いができるように、教科書の言葉を引用した「センテンスカード」を活用する。(並べ替え、間違い探し、選択や消去法)【手立て③】</u></p>

	<p>本時 第2回「読書でたいわ」教室～続き～前時でグループで話し合ったことを交流する。</p> <p>ねまきのまんま裸足で走ったのも勇気があるよ。</p> <p>やっぱり家を飛び出してからどこかで変わったんだと思う。</p> <p>なきなき走った所は？ここで勇気が出せた。</p> <p>勇気というか、何も考えていないのではないかな。</p> <p>飛び出してからの行動で絞って話し合っていていいと思う。</p> <p>泣いているから、勇気を出しているとは...</p>	<p>☆ <u>小グループでの学びや考えの広がりや深まりを、全体にひろげていくために、「たいわシート」を交流したり、全体で一つのテーマに向かって話し合う活動を取り入れる。</u>【手立て②】</p> <p>☆ <u>自ら課題を追究し、自分の考えをもつことができるように、読みの視点を提示する。「一番大きく変わったのはどこなのだろう？」</u>【手立て①】</p> <p>☆ <u>豆太が変化した部分の叙述をさがしながら話し合いができるように、教科書の言葉（特に豆太の行動や言葉）を引用した「センテンスカード」を活用する。（並べ替え、間違い探し、選択や消去法）</u>【手立て③】</p>
	<p>○ 第3回「読書でたいわ」教室を行う。「じさまにとって勇気と優しさはどちらが大事なの??」～作品の主題に迫り作者の伝えなかったことは何かを考える。～</p> <p>勇気を出すことが大事だということかな。</p> <p>やさしささえあればということでは？</p> <p>どちらも大事だということが言いたいんじゃない？</p> <p>どちらか選んでと言われたら、どちらが大事なのかな？</p> <p>○ 自分たちで「読書でたいわ」をやってみる。</p> <p>昨日の続きをテーマにして話さない？</p> <p>やさしさと勇気どちらが大事かね。</p> <p>じさまはわざと病気になったのか？は？</p> <p>それ面白い。実は、医者様も知っていた。</p>	<p>◇ 主題に迫る読み方をしている。【評価②】</p> <p>☆ <u>自ら課題を追究し、自分の考えをもつことができるように、読みの視点を提示する。「じさまにとって勇気と優しさはどちらが大事？」など</u>【手立て①】</p> <p>☆ 「<u>主題選択カード</u>」の活用をする。（自分の主題の捉えと近い意味を見つけたり、異なる読みを消去することができる）【手立て③】</p> <p>◇ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。【評価②】</p> <p>☆ <u>各グループの中で解決できなかった課題、盛り上がったテーマを抽出し、そのテーマを使って全体での交流会をする。</u>【手立て①】</p>
<p>まとめ期（3時間）</p>	<p>○ モチモチの木で学習したことを活用し、グループごとに選んだ作品を読み、考えたことを交流する。</p> <p>「サーカスのライオン」でやってみよう。</p> <p>「ソメコとオニ」も面白そう。</p> <p>○ 選んだ作品について、考えたことを交流し、「たいわシート」にまとめたり、各グループで交流したりする。</p> <p>ジンザが男の子を助けに行く場面が...</p> <p>誘拐されているのに気付かないソメコが...</p> <p>○ 全体で交流し、その結果を伝え合ったり、評価し合ったりする。</p> <p>どの話も面白そう...。他の作品も読みたい。</p> <p>たいわシートで面白いところを教えてください、読みたくなったよ。</p> <p>本を読んで語り合ったり、紹介し合ったりするのは楽しいね。もっとたくさん本を読みたいな。</p>	<p>◇ 様々な作品から読みたい作品を選び、進んで読書をし、親しもうとしている。【評価③】</p> <p>☆ <u>多様な作品かつ3年生にも読みやすいように、小学校3年生向けの作品（教科書掲載の作品など）をあらかじめ準備する。</u></p> <p>◇ 作品を読み合って、感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。【評価②】</p> <p>☆ <u>多様な考えに触れることができるように、交流の仕方を工夫したり、時間を十分に確保する。</u>【手立て②】</p> <p>◇ 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得るだけではなく、楽しむためや心を豊かにするためにも役立つことに気付くことができる。【評価①】</p> <p>☆ <u>どの作品のことを話しているのかがわかるような黒板掲示の工夫をする。（表紙を貼るなど）</u>【手立て③】</p>

(4) 本時案 (6/12)

<p>本時の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 1～5 場面の豆太の行動に関する叙述に着目し、豆太の気持ちの変化について想像するとともに、感じたことや考えたことを全体で語り合いながら共有することができる。 	
<p>学習活動 (○) と子供の姿</p>	<p>教師の支援 (☆) と評価 (◇)</p>
<p>○ 前時の学習を振り返る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="width: 45%;"> <p>1～5 場面の中でも、4 の場面 で豆太に変化がありそうだね。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>そうだね。そして5 の場面 で元に戻っちゃうんだけど…。</p> </div> </div> <p>○ 本時の見通しをもち、学習のめあてを把握する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="width: 45%;"> <p>今日は、クライマックスの場面 をみんなで決めるんだよね。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>うんうん。グループで話した ことを全体で交流するんだよ。</p> </div> </div>	<p>☆ <u>ここまでの学習を活用しながら、学習を進めていくことができるように、挿絵を並べ替えながら、物語の流れをつかんだり、これまでの学習を振り返る場を設ける。【手立て③】</u></p> <p>☆ 本時の学習のテーマを確認する。</p>
<p>第2回「読書でたいわ」教室「クライマックス場面はどこ??」 ～豆太の心情がかわったところはどこなのかをみんなで考えていこう～</p>	
<p>○ 前時で行った、「読書でたいわ」で話し合ったことを、「たいわシート」を使いながら交流する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="width: 45%;"> <p>僕たちは、じさまが腹痛を起 したときに変わったと…。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>起こしたときだとまだ勇気 を出せてないと思うんだけど…。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="width: 45%;"> <p>医者様を呼ばなくっちゃ！ は？どうかな？</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>それも思っただけだから、もっ と行動しているところが…。</p> </div> </div> <p>○ 交流の結果、クライマックス場面（豆太が大きく変わった と考えられる叙述）がどこなのかを再度確認する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="width: 45%;"> <p>ねまきのまんま裸足で走った のも勇気があるよ。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>勇気というか、何も考えてい ないのではないかな。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="width: 45%;"> <p>やっぱり家を飛び出してから どこかで変わったんだと思う。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>飛び出してからの行動で絞っ て話し合っていると思う。</p> </div> </div> <p>○ クライマックスはどこなのか（豆太が大きく変わったの はどこか）について考えたことを全体交流する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="width: 45%;"> <p>なきなき走った所は？ここで 勇気が出せた。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>泣いているから、勇気を出して いるとは言えないような…。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="width: 45%;"> <p>あれ？でも「なきなき 走った」は二つ出てく るよ。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>確かに二つ目の「じさまが死にま う方がこわいから」…という理由の 後の泣き走り走ったなら、勇気を出 している…。</p> </div> </div>	<p>◇ 豆太の気持ちの変化について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。<u>評価②</u></p> <p>☆ <u>多様な考えに触れることができるように、交流の仕方を工夫したり、時間を十分に確保する。【手立て②】</u></p> <p>☆ <u>叙述を基に話し合いができるように、教科書の言葉を引用した「センテンスカード」を活用する。（並べ替え、間違い探し、選択や消去法）</u> 【手立て③】</p> <p>◇ 感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。<u>評価②</u></p> <p>☆ <u>発問の工夫（教師からの疑問、意図的な補足）により、自分たちの読みの再検討、再構成を進めていくことができるようにする。【手立て①】</u></p> <p>☆ <u>センテンスカードを掲示し、話し合いの焦点化を図る。【手立て③】</u></p>
<p>大好きなじさまのために、勇気を振り絞って泣き泣き走った豆太の姿がクライマックスだね。</p>	
<p>○ 今日の学習を通して思ったことや考えたことをまとめ、次時の学習の見通しをもつ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="width: 45%;"> <p>同じ文を選んでいるけど、考 え方が違って面白かった。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>次の時間の、主題を考える学 習も面白そうだね。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="width: 45%;"> <p>ぼくは、じさまが最後に言っ ている言葉が主題だと思う。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>ぼくも、勇気が大事という 言葉。それじゃないかと…。</p> </div> </div>	<p>☆ 振り返りの場を設ける。</p> <p>☆ <u>次時の見通しを持つことができ るよう、主題は何かについて、現在 考えている主題を引き出し、その考 えを基に教師が主題選択カードを 作成してくれることを伝える。</u> 【手立て③】</p>